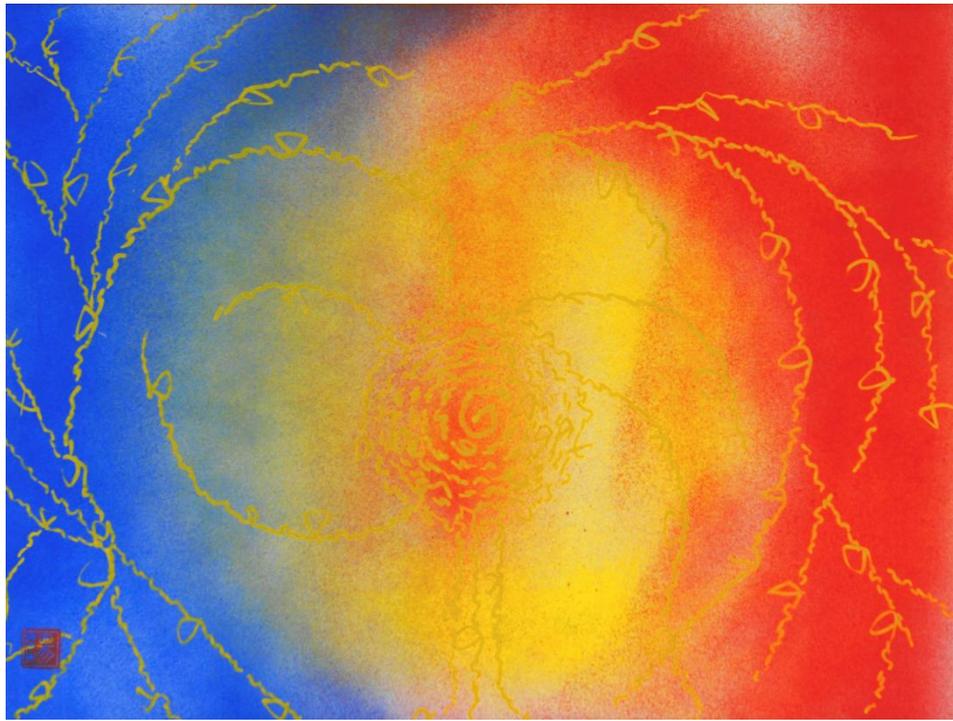


プレスリリース
関係各位

田嶋陽子 書アート展 こもれる日々

Tajima Yoko SHO ART The days of my retreat



《光臨》



《地》

公益財団法人 日動美術財団 笠間日動美術館
茨城県笠間市笠間 978-4

Tel : 0296(72)2160 / Fax : 0296(72)5655

URL: <http://www.nichido-museum.or.jp>

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、笠間日動美術館では以下の通り、

企画展「田嶋陽子書アート展 こもれる日々」と「共鳴する絵画 - 音 -」を同時開催することになりました。
つきましてはご取材・ご紹介などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■ 田嶋陽子書アート展 こもれる日々 開催趣旨

女性学の第一人者として知られる田嶋陽子は、64歳を過ぎてから歌と書アートという新たな分野に挑戦を始めました。「体は年とともに衰えていく一方、学ぶことで少しずつ成長する別の自分がある。それは希望と言ってもよいかもしれない」と田嶋は語ります。力強い筆勢から繊細な筆致まで、万華鏡のように田嶋の今を映し出す作品の数々は、私たちに人生の楽しみ方を教えてくれることでしょう。

また、7月2日（土）17時から「歌とトークショー」を開催します。田嶋が歌い語るシャンソンの世界へご案内いたします。

■ 田嶋陽子プロフィール

1941年、岡山県に生まれ、静岡県で育つ。元法政大学教授、元参議院議員、英文学・女性学研究者。女性学の第一人者として、またオピニオンリーダーとしてマスコミでも活躍。津田塾大学大学院博士課程修了。2度のイギリス留学。

定年を過ぎてから歌と書アートを始め、現在歌手活動とともに、書アートでも自分の世界をつくるべく格闘中。著者に『愛と言う名の支配』『ヒロインはなぜ殺されるのか』など多数。



■ 『田嶋陽子作品集』序文より

60歳で大学をやめて、63歳で議員をやめてから、1年間何もしない生活を送ってきた。たまたま軽井沢の冬の町おこしに声をかけられ、それがきっかけで、歌を始めた。時間が出来て心が落ち着くと、無性に白と黒と筆の世界が懐かしくなった。毎年、軽井沢の雪を見るたびに、心が躍った。この雪を墨で描けたら！

いろんな先生に出会った。そのうちの一人の先生に、「一」の字を1000本書くことが基本だと言われた時、人生の残りの時間が少ないことを考えて困ってしまった。そんなとき、岡本光平先生に出会った。「上手な字を書こうとするな。人間力で書けばいい」という先生の言葉に救われた。「書道」ではなく、ラインアートとしての「書」、これなら私も自分の世界が作れるかもしれない。やっと残りの人生に希望が広がった。

■ 展覧会の概要

- | | |
|-------|--|
| 会 期 | 2016年6月4日（土）～7月24日（日） |
| 会 場 | 企画展示館 1F |
| 開館時間 | 午前9時30分より午後5時（入館受付は4時30分まで） |
| 休 館 日 | 月曜日（但し7月18日は開館、翌日休館） |
| 入 館 料 | 大人1000円、65歳以上800円、大学・高校生700円、中学生以下無料
・春風萬里荘（北大路魯山人旧居）との共通券： |

大人 1,400 円、65 歳以上 1,100 円、大学・高校生 900 円、中学生以下無料

・割引：20 名以上の団体は各 200 円割引

障害者手帳をお持ちの方、その同伴者 1 名は各半額割引

主催 公益財団法人日動美術財団 笠間日動美術館

特別協力 田嶋陽子女性学研究所

後援予定 茨城県／茨城県教育委員会／笠間市／笠間市教育委員会／茨城放送／茨城新聞社

朝日新聞水戸総局／産経新聞水戸支局／東京新聞水戸支局／毎日新聞水戸支局

読売新聞水戸支局／東日本旅客鉄道株式会社水戸支社

同時開催 共鳴する絵画 - 音 - (会場 企画展示館 2F)

楽器の調べ、風の囁きや川のせせらぎ、そして、暮らしの中のざわめき。本展では音をイメージし、感じられるような主題に焦点をあて、日本近現代洋画家の作品 (34 点) を 2 章に分け紹介いたします。様々な響き合う絵画の競演をお楽しみください。

第 1 章「自然の音と和の調べ」(16 作家 17 点)

川村清雄 五姓田芳柳、五姓田義松、小山正太郎、
彭城貞徳、鈴木鳥川、曾宮一念、高橋由一、
中澤弘光、正宗得三郎、向井潤吉、藤島武二、
山本芳翠、ラグーザ玉、渡辺審也、渡辺幽香

第 2 章「暮らしの音と洋の調べ」(17 作家 17 点)

岩田栄吉、浮田麻木 (彫刻)、江村正光、遠藤彰子、
城戸義郎、小杉小二郎、酒井信義、佐々木豊、
陶山充、田村孝之介、松井ヨシアキ、松樹路人、
山本桂右、山口薫、山口高、山本大貴、渡邊榮一



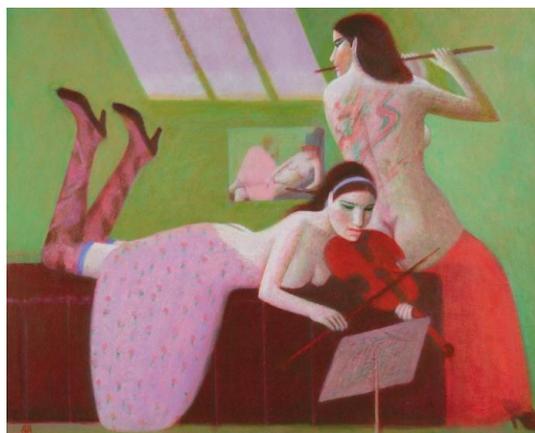
高橋由一「本牧海岸」1877 年



城戸義郎「ヘンデル エアーバリエ」2010 年



ラグーザ玉「保津川の溪流」



佐々木豊「合奏」2014 年

■ 会期中のイベント

- 「田嶋陽子 歌とトークショー」 7月2日(土) 17:00開演/料金:3000円
ご希望の方はお電話(笠間日動美術館 0296-72-2160)にてご予約ください。
なお当日は「田嶋陽子書アート展」会場、及び「鴨居玲の部屋」は16:00で閉室させていただきます。
- 学芸員によるギャラリートーク【共鳴する絵画について】
6月18日(土)/7月23日(土) 各日 14:00~
- 企画展関連ワークショップ「文字から生まれる形象」
6月11日(土) 10:00~15:00(1時間の昼休憩を挟む) 定員:30名(要予約)
- プチ・コンサート「クローデルクインテット~木管五重奏の響き~」
7月9日(土) 14:00~15:00
- 1日画家体験「モイーズ・キスリング」
7月9日(土) 10:00~15:00(1時間の昼休憩を挟む) 定員:30名(要予約)
- 水彩・パステル基礎講座
7月16日(土) 10:00~15:00(1時間の昼休憩を挟む) 定員:30名(要予約)

■交通案内

- [JR 利用] ・常磐線友部駅北口より「かさま観光周遊バス」(9:55/10:50/11:50 発)で約 15 分(100 円)
または市内循環バスで約 15 分。「日動美術館入口」下車徒歩 2 分
・水戸線笠間駅より徒歩約 20 分(日動美術館・春風萬里荘共、但し方向は逆)
「かさま観光周遊バス」またはレンタサイクルの利用が便利です。
- [自動車利用] ・常磐道友部 JCT 経由、北関東道友部 IC より国道 355 号線経由約 6 km
・東北道栃木都賀 JCT 経由、北関東道笠間西 IC より国道 50 号線経由約 8 km
- [高速バス利用] 「関東やきものライナー」(秋葉原 8:20 発)笠間神社入り口下車徒歩 10 分

■お問い合わせ先(担当: 亀山/高橋)

茨城県笠間市笠間 978-4 電話: 0296-72-2160 Fax:0296-72-5655

Mail: m-museum@nichido-museum.or.jp

以上